

葉爾羌河

尺乃至十四尺を有し、流速一分時百七十尺乃至百九十二尺を走ると云ふ。河岸には楊柳梧桐等の灌木叢生し、蜿蜒翠幕を張れり。

葉爾羌河は著名の大河にして、一に葱嶺南河と稱す。其源は喀喇崑崙山及葱嶺山脈の塔曼爾瑪山に發し、層巒重嶂の間を迂餘曲折し、葉爾羌の南を過ぎて東北に流れ更に瑪喇巴什の南を東流し、喀什噶爾河を併せて尙ほ東に走り再び阿克蘇河和闐河等に合して塔里木河と爲る。該河は塔里木河の源流中最も大なるに因り土人は塔里木河を呼ぶに、通常葉爾羌河を以てす。

喀什噶爾河

喀什噶爾河も亦有名なる河川にして、或は葱嶺北河と稱し、葱嶺の赫色勒山より發するに因り、別に赫色勒河とも稱す。烏蘭烏蘇河を合せて東に流れ喀什噶爾回城の南を過ぎ、茲に圖們河を合し更に雅滿雅爾河を合し始めて喀什噶爾河と爲り東流、瑪喇巴什の北方を通じ、遂に葉爾羌河と合流す。此の地點は源流を距ること約百三十五里、羅布淖爾を距る約二百廿里、其附近水幅七十七尺水深十四尺あり、速力一分時二百尺とす。但し喀什噶爾附近は、大抵騎渡し得べし。

阿克蘇河

阿克蘇河は二源あり、其一は天山山脈の中部木蘇爾達坂の西面より發源し、其二